九州大学学術情報リポジトリ
Kyushu University Institutional Repository

[023] 中国文学論集表紙奥付等

https://hdl.handle.net/2324/9895

出版情報：中国文学論集. 23, 1994-12-25. 九州大学中国文学会
バージョン：
権利関係：

KYUSHU UNIVERSITY

彙　報

○講義題目（平成六年度）

特研　中国語学・中国文学の諸問題　竹村　助教授
特講　楊貴妃文学史研究　竹村　助教授
演習　杜甫詩演習　竹村　助教授
　　袁枚詩演習　竹村　助教授
　　古代漢語　康　教師
　　中国文学史　康　教師
　　元人雑劇選　康　教師
　　詞・散曲・民歌選　（比較研）合山　教授
　　当代文学研究　（言語文化部）岩佐　教授
　　中国語初歩
　　（大分県立芸術文化短大）西山　講師
　　中国語
　　（　〃　）西山　講師
臨講　中国の詩法と言語
　　――日本詩歌にも関連して――
　　（早稲田大学）松浦　教授
　　漢語音韻学研究
　　（大阪外国語大学）佐々木助教授

○卒業論文

『金瓶梅』と『好色一代男』にみる男女の愛　古賀　昌治
張抗抗の小説について
　――その変遷の背景にあったもの――　林　恭子
『封神演義』にみる魂魄について　角田　美和
『三国志演義』における裏切りの論理　寺田久美子
魚玄機「贈鄰女」詩論　中島　仁美
巴金『家』
　――「個」と「家」の問題に関して――　祝　英明
中唐文学に於ける情愛の世界
　――白氏文集及び伝奇小説を中心として――　諸田　龍美
杜詩における書畫論の受容　安松　靖子

○中国文芸座談会

第一四四回（平成五年五月九日）
　魯迅『野草』と『晨報副刊』
　――「ソルゲーネフ散文詩」訳載を中心に――　秋吉　収

『三体詩』におさめる杜常「華清宮」詩は『万首唐人絶句』に拠ったか　竹村　則行
第一四五回（七月四日）
南宋初の随筆『碧鶏漫志』の特徴
――蘇軾詞評価を中心に――　正木佐枝子
『北堂書鈔』の編集態度に見る虞世南の文学観　柳川　順子
第一四六回（九月五日）
『秦併六國平話』と胡曾の詠史詩　岡村真寿美
意境理論萌胎於『文心雕龍』説　盧　永璘
第一四七回（十一月六日）
杜詩における書画論の受容
――「丹青引」を中心として――　安松　靖子
中唐文学に於ける「情」の世界　諸田　龍美
『拍案驚奇』の評釈について　日下　翠
第一四八回（平成六年一月二十九日）
芥川龍之介『支那游記』考　山本　美香
巴金『家』論
――「個」と「家」の問題に関して――　祝　英明
『楚辞』第一人称代名詞の語用より見た上古漢語の共時的差異　西山　猛
第一四九回（三月二十日）
『三国志』と『三国演義』に於ける諸葛孔明　小笹美樹子
中国当代文学考
――在外研究を終えて――　岩佐　昌暲
第一五〇回（五月十四日）
蘇軾の婉約詞について
――曹樹銘氏の誤入説の再検討――　正木佐枝子
特別講演
『白氏文集』の版本と久留米大学本『白氏文集』　岡村　繁
第一五一回（七月十六日）
阮籍「詠懐詩」をめぐる若干の問題　甲斐　勝二
関於「文選序」「事出於沈思，義帰乎翰藻」的「事」和「義」　楊　明
第一五二回（九月十七日）
『詩経・国風』言情詩与周代婚制　盧　益中
「渾家」何以呼「大嫂」
――元雑劇中的特殊称謂与兄弟共妻古俗――　康　保成

彙報

第一五三回（十一月十九日）

古代民歌のリズムと詩經四言のリズムについて　野田　雄史

周作人の文学における〝川柳味〟　呉　紅華

伝奇小説から講唱文学に至る西廂故事の演変
――趙令時の《商調蝶恋花》
を中心として――　黄　冬柏

○**会員近著**

秋吉久紀夫　精選中国現代詩集
（土曜美術社出版販売
世界現代詩文庫20
平成六年三月）

穆旦詩集
（土曜美術社出版販売
平成六年五月）

交流と異境
（土曜美術社出版販売
詩論・エッセー文庫4
平成六年七月）

多賀　浪砂　干宝『捜神記』の研究
（近代文藝社　平成六年五月）

○**会員消息**

目加田　誠　平成六年四月　逝去